

令和7年度事業報告

I 事業の概要

人口減少、少子高齢化が進展し、高齢者のより一層の活躍が期待される中で、シルバー人材センターは、会員の技能や経験を活かし、地域社会に密着した仕事をすることにより、生きがいの充実と社会参加の場として重要な役割を担っています。

こうした中、北広島市シルバー人材センターでは、令和7年度からスタートした中期計画に基づき「会員（会員の増強）」、「就業（就業機会の拡大・事業の拡大）」、「安全・適正就業（安全・適正就業対策の推進）」、「組織・財政運営（事業運営体制の充実と財政基盤の強化）」を4つの柱として事業に取り組んできました。

令和7年度末の会員数については、定年延長や再雇用制度の影響を受けつつも、新規入会者は前年度末に比べ14人の増加で61人、退会者は前年度末に比べ17人の減少で42人、総会員数は前年度末に比べ19人の増加（男性会員は9人増、女性会員は10人増）で506人となり、令和2年度以降、5年振りに増加に転じました。

受注件数については、前年度末に比べ189件、14.0%減の1,164件、契約金額については、前年度末に比べ5,306千円、2.4%増の2億2,331万円の事業実績となりました。

契約金額の内、請負事業については、前年度末に比べ4,584千円、2.4%増の1億9,296万円となりましたが、家庭部門については就業会員の減少や高齢化により新規依頼の仕事も含めお断りせざるを得ない状況で、前年度末に比べ643千円、3.9%減の1,582万円と減少している現状にあります。

派遣事業については、前年度末に比べ722千円、2.4%増の3,035万円となりました。

令和7年度の中期計画目標値については、すべてにおいて目標を達成ことができました。

安全就業については、物損事故1件（前年度4件）、傷害事故4件（前年度4件）、労災事故0件（前年度0件）、交通事故1件（前年度4件）の計6件（前年度12件）が発生しており、前年度と比べ6件減少となりましたが、事故ゼロを目指し、さらなる安全対策の強化が求められます。

また、令和6年11月に施行されたフリーランス法（特定受託事業者に係る取引の適正化等に関する法律）に伴い、厚生労働省から示された新たな契約方式への移行の事務手続きを積極的に推進し、令和8年4月1日から包括的契約へ移行する体制を整えました。

令和7年度の目標値及び事業実績と前年度事業実績の比較につきましては下表のとおりです。

区 分	令和7年度 目 標 値	令和7年度 事業実績	令和6年度 事業実績	比較増減	対前年度比
登録会員数	500人	506人	487人	19人	103.9%
粗入会率	2.14%	2.17%	2.09%	0.08割	103.8%
就業実人員	380人	386人	371人	15人	104.0%
就 業 率	76.0%	76.3%	76.2%	0.1割	100.1%
就業延人員		32,972人日	33,418人日	▲446人日	98.7%
受注件数		1,164件	1,353件	▲189件	86.0%
受注金額	213,000千円	223,314千円	218,008千円	5,306千円	102.4%
請負事業	186,000千円	192,962千円	188,378千円	4,584千円	102.4%
公 共		106,310千円	104,807千円	1,503千円	101.4%
企 業		62,953千円	59,548千円	3,405千円	105.7%
家 庭		15,829千円	16,472千円	▲643千円	96.1%
独自事業		7,870千円	7,551千円	319千円	104.2%
派遣事業	27,000千円	30,352千円	29,630千円	722千円	102.4%
公 共		11,682千円	10,785千円	897千円	108.3%
企 業		18,670千円	18,845千円	▲175千円	99.1%

以下、令和7年度事業の実施状況について報告します。

II 事業の実施状況

1 会員（会員の増強）

(1) 会員の拡大

- ① 新規入会者及び紹介会員へ Quo カードを進呈する会員紹介キャンペーンを実施しました。
- ② 毎月25日に入会説明会を開催し、センターの役割や仕組み、安全就業、就業基準等を説明し、新規入会者の促進に努めました。また、都合により説明会に参加できない希望者に対しては、随時、直接説明を行いました。
- ③ 入会説明会に持ち回りで理事が出席し、入会のきっかけや就業体験等の講話をすることで入会促進を図りました。
- ④ 入会説明会終了後、希望職種を聞き取りながら就業情報を提供することで早期就業に努めました。
- ⑤ 女性会員の増強を図るため、ふれあい特集号に女性委員会（ほほえ～む）の活躍コーナーを設け、活動紹介を行いました。
- ⑥ 80歳以上会員への対応として、高齢でも無理なくできる単発で軽易な仕事の紹介を行いました。

⑦ 未就業会員に対して、希望職種以外の仕事や単発・軽易な仕事の紹介を個別に行いました。

⑧ 「ゴールド会員」登録制度の見直しを進めるとともに、退会を申し出た会員に対し「ゴールド会員」への移行を推奨しました。

(2) 会員の能力向上

① 安全就業、交通安全、スマホ講習会を実施しました。

② 草刈機械取扱、網戸張り、冬囲い、木工品及び包丁研ぎ等の技能講習会を実施しました。

③ 接客接遇研修を実施しました。

2 就業（就業機会の拡大・事業の拡大）

(1) 就業先の開拓

① 昨年に引き続き、空き家の見回り業務を行いました。

② 引越しや家撤去時の荷物片付け業務を行うとともに、単発作業（One-Time Job）の登録制度を導入しました。

(2) 労働者派遣事業の取り組み

① 請負から派遣事業への移行を行い、適正就業に努めました。

(3) 独自事業の推進

① 花苗づくり、腐葉土づくり及び木工品づくりの3事業に取り組み、就業機会の創出及びシルバーPRに努めました。

② 花苗事業は、北の台ハウスで花苗の販売を行いました。

③ 腐葉土事業は、北の台ハウス、シルバー活動センター及び秋の手作りマーケットで販売を行いました。

④ 木工事業は、シルバー活動センター、エルフィンパーク、秋の手作りマーケット及びシルバーフェスティバルでの販売のほか、木工品作成講習会を行いました。

3 安全・適正就業（安全・適正就業対策の推進）

(1) 安全就業の推進

① 安全委員会による就業現場の巡回を4回実施しました。

② 北広島市及び厚別警察署の協力による交通安全講習会を実施するとともに普通救命・AED講習会を実施しました。

③ 発生した事故の原因検証及び再発防止対策を行うとともに、会員へ事故の内容を周知し、安全意識の徹底に努めました。

(2) 適正就業の推進

① 「適正就業ガイドライン」に基づき、ローテーション就業とワークシェアリングの推進に努めました。

4 組織・財政運営（事業運営体制の充実と財政基盤の強化）

(1) 事業運営の活性化

- ① 道シ連主催の役員研修会（苫小牧市）に役員6名が参加しました。
- ② 地域班長会議、地区懇談会を開催し、会員との意見交換を行い適切な事業運営に努めました。
- ③ 親睦会事業の実施にあたり、親睦会と連携・協力して会員相互の親睦・交流を図りました。
- ④ 職員の事務能力の向上を図るため、道シ連等主催の職員研修会に積極的に参加しました。

(2) 広報活動の充実

- ① 秋の手作りマーケットで子ども縁日コーナーを設け、来場者の拡大を図りました。
- ② Instagram、X(旧 Twitter)を活用して、シルバー事業の周知、PRを行いました。
- ③ 当センターを効果的にインターネット検索できる「リスティング広告」を行いました。
- ④ ボランティア活動として、エルフィンロードの落ち葉清掃や枝払い清掃、F ビレッジハーフマラソン大会参加者に配給するミニトマトのへた取りを行いました。
- ⑤ センターでのイベント等の実施にあたり、チラシを作成して新聞折込みを行いました。
- ⑥ 元気フェスティバルへ木工班、女性委員会（ほほえ〜む）が参加しました。
- ⑦ 全道ろうあ者大会に女性委員会（ほほえ〜む）が、エルフィンパークで2日間出店しました。
- ⑧ シルボンヌほっかいどう大会に木工班（女性会員）、女性委員会（ほほえ〜む）が参加しました。また、当センターの会員による就業事例発表を行いました。
- ⑨ 会報「ふれあい」や「ふれあい特集号」により、講習会やイベント等の情報提供を行いました。

(3) 財政基盤の確立

- ① 経費節減や事務・事業の効率化を図り、適正かつ健全な財政運営に努めました。
- ② フリーランス法施行に伴う新たな契約方式への移行について、令和8年4月1日から包括的契約に移行するため、北広島市との協議を進め、会員、企業等への説明・周知を行いました。

その他 自然災害等の発生時への対応

令和7年度は、当センターにおける自然災害等の発生はありませんでした。